

【庁議結果_HP版】

区 分	内 容
会 議 名	令和3年度 第5回庁議
日 時	令和3年5月25日（火） 午前8時45分から午前9時40分まで
場 所	庁議室
件 名	<p>【報告事項】</p> <p>(1) 前橋市総合防災マップの改訂について（総務部）</p> <p>(2) 新型コロナワクチン接種の進捗状況等について（健康部）</p> <p>(3) 開設71周年記念三山王冠争奪戦の開催結果について（産業経済部）</p> <p>(4) 豚熱（CSF）対策について（農政部）</p> <p>(5) 豚熱（CSF）防疫措置対応に係るアンケート結果について（農政部）</p> <p>【その他】</p> <p>(1) スーパーシティ構想について（未来創造部）</p>
<p>【報告事項】</p> <p>(1) 前橋市総合防災マップの改訂について（総務部） 総務部から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(2) 新型コロナワクチン接種の進捗状況等について（健康部） 健康部から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(3) 開設71周年記念三山王冠争奪戦の開催結果について（産業経済部） 産業経済部から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(4) 豚熱（CSF）対策について（農政部） 農政部から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(5) 豚熱（CSF）防疫措置対応に係るアンケート結果について（農政部） 農政部から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>【質疑等】</p> <p>(1) 前橋市総合防災マップの改定について（総務部） 《公営企業管理者》 総合防災マップを一般の人が読み取るのはなかなか難しいと思う。知っている人間でも、この表示が実はどういう行動を取るものかというのは分かりにくい。行政側が出すものなので、どういったものが分かりやすくなるのかということを考えていく必要があると</p>	

思う。

例えば、一般の人は、近隣の避難所は、このマップでいえば白いところにあるから絶対大丈夫だとか、黄色のところもある気がするとか、考えると思う。50cmくらいまでの雨水のところにいる人は敢えて避難所まで出ていかなくていいということはマップの中にも書いてあるが、一般の人はそれを読み取りづらいと思うので、上手に警報を出してもらう必要があると思った。そこをご検討いただきたい。

《総務部長》

それぞれの地区では、自主防災会、自治会連合会を中心にお願いしているが、そういった所での周知は、回りながら実施している。

当然ながら、指定避難所を開設したとしても、今現在、浸水想定区域の人口は20万人と言われている。そうすると、当然、避難所には全て収容しきれないので、分散避難など、いろいろな手法を普段から考えていただきたいということを、周知していきたいと考えている。

《市長》

4支所管内についても注意してほしい。告知の旨、特に避難情報の発令についても、土砂災害等のリスクが高い部分については、よくやっていただきたいと思うので、よろしくお願いしたい。

(2) 新型コロナワクチン接種の進捗状況について（健康部）

《文化スポーツ観光部長》

残余ワクチンについて。市の職員という中で、集団接種従事者と予防接種の従事者はよく分かるが、例えば清掃工場や斎場などが止まってしまうと困ると思う。そういうところも対象となるのか。

《健康部長》

今のところ、いわゆる市民生活に影響がある業種、ごみ収集や上下水道の関係など、そういった職員は対象にしていきたいと考えている。

《戸塚副市長》

つながる支えるプロジェクトでエッセンシャルワーカーが出てきたが、これは、65歳以上ということではないか。

《健康部長》

そうではない。残余のワクチンについては、河野大臣もいろいろ言っているが、無駄にしまうのであれば、その分は自治体に裁量があるというものである。

《環境部長》

残余ワクチンの関係で、ごみ収集とか清掃工場関係の市の職員への活用という話もいただき、大変ありがたい話だと思う。そこで、委託業者もいるが、委託業者の兼ね合いはどうすればよいか。

《健康部長》

そういったところも、調整する中で打ち合わせをしていきたい。

《中島副市長》

65歳未満は何人くらいいるのか。

《健康部長》

20万人くらいいる。

今回、65歳以上、その下が基礎疾患の方があり、あとは高齢者施設の従事者、その次が65歳未満になる。実施計画でも60歳から64歳という区分けをしている。

《中島副市長》

そうすると、65歳以上が10万人で、その倍くらいというと、4か月くらいかかるのか。

《健康部長》

かなりかかると思う。5歳きざみでやっている、いつ終わるのかという不安もある。

65歳未満についても、やり方は検討している。ある程度の年齢できざみ、3万、4万くらいの枠の中でやったほうが混乱はしないかなと考えているので、そのあたりは早急に詰めたいと思っている。

《市長》

残余ワクチンの在り方については、3つの要素があると思う。私たちが決定する以外の要素であるが、1つは県のワクチンセンターである。

これからの私たちのワクチン接種をどう補完してくれるのか、まだ見えてきていない。私たちと同じようなことやるのであれば、混乱が生じるかもしれない。私たちとすると、残余ワクチンの接種の優先をしている方々について、別枠でやってもらいたいと思っている。小中学校の教師や福祉職などが対象だと思う。その中にエッセンシャルワーカーも入ってくると思うが、そういう職種に関して、県が責任をもって、我々のルート以外のところで先行接種していただければいいと思っている。

2つ目は、議会はどういう考えなのか、聞いておいた方がいいと思う。横山議長は65歳以上、富田副議長は50歳代である。そういう意味では、議会には意見だけでも伺っておいた方がよいと思う。私たち自身については、ルールの中で決めてもらうしかないと思う。

3つ目は、今後の広報についてである。いろいろなことを、タイムリーに打っていかなければならない。いろんなチャンネルを使って議論していくということでどうか。よろしくをお願いします。

(3) 開設71周年記念三山王冠争奪戦の開催結果について（産業経済部長）

《市長》

ナイター競輪自体がどの地区も、このくらいの売り上げなのか。

《産業経済部長》

そうである。今はコロナ禍で、それぞれ工夫しながらだが、インターネット投票が7割くらいを占めている。そういう集ごもり需要も全国的な傾向として表れ、このような結果となっている。

《市長》

G3 やナイター競輪等も、知恵によっては十分、収益を上げられると考えてよいか。

《産業経済部長》

そのとおり。

《市長》

そうすれば、無駄なコストは省いていくという考えで、新しい競輪の在り方が見えてくるのではないか。

【その他】

(1) スーパーシティ構想について（未来創造部）

《デジタル政策担当部長》

スーパーシティ構想については、4月16日、内閣府に申請書を提出し、4月下旬には内閣府の事務方とヒアリングを行った。また、昨日、市長にもご対応いただき、内閣府有識者ヒアリングを実施した。

【質疑等】

(1) スーパーシティ構想について（未来創造部）

《市長》

昨日、初めて私も参加して、内閣府の選考委員の先生方に対して、前橋の取り組み報告をさせていただいた。およそ40分の質疑をいただいた。その中で私が感じたことは、全体像を、私たちの各審議会のメンバーから報告したが、かなり多岐の分野にわたって市民生活をICT やテクノロジーによって支えていこうという、大きな、広範なプラットフォームを作るように動いている。

それにはみなさんが、どういう事業がそのプラットフォームによって合理化できるのか、市民生活に向かって還元化や生産性が高いサービスになるのか、サービスの提供をそのプラットフォームに委ねる私たちとしても、大きく認識すべきことだと思っている。

みなさんも当事者として、ぜひ、いろいろなアイデアと知恵を、よろしく願いたい。

《市長》

ワクチン部隊も大変だと思うが、健康部や福祉部、各部のみなさんに応援に来ていただいている様子を見て、予約会場で市民にありがとうと言われる職員の様子を見てみると、お手伝いに来た苦勞が飛んでいくのではないかとと思っている。本当に感謝されているように、私自身は感じている。

長丁場だが、また、政府は年内にはと言っているようだが、それも含めて、私たちはと

にかく精一杯やっていくしかない。そういう意味では、時期にこだわったり、何か別の尺度ではなく、市民に安全を届けていくという、そういう気持ちで取り組んでいただければと思う。当分の間、混乱すると思うが、みなさんと一緒に乗り切っていきたいと思う。

以上

*今後の庁議開催予定

開催日	開始時刻	場 所
6月16日(水)	午後2時00分	庁議室
6月29日(火)	午前8時45分	庁議室
7月13日(火)	午前9時00分	庁議室

5月の定例記者会見は、25日(火)午後2時00分から開催します。

6月の定例記者会見は、11日(金)午後2時00分から

25日(金)午後2時00分から開催します。